



2021年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年2月5日

上場会社名 新東株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5380 URL <http://www.shintokawara.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 早川 正 TEL 0566-53-2631
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第2四半期の業績 (2020年7月1日～2020年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第2四半期	2,551	△15.0	1	△96.5	9	△83.8	△42	—
2020年6月期第2四半期	3,002	△2.4	44	281.5	56	113.7	37	63.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第2四半期	△119.94	—
2020年6月期第2四半期	104.83	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期第2四半期	6,557	3,274	49.9	9,252.85
2020年6月期	6,692	3,341	49.9	9,444.11

(参考) 自己資本 2021年6月期第2四半期 3,274百万円 2020年6月期 3,341百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	75.00	75.00
2021年6月期	—	0.00	—	—	—
2021年6月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2021年6月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定です。

3. 2021年6月期の業績予想 (2020年7月1日～2021年6月30日)

2021年6月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を現段階において合理的に算定することが困難であることから引き続き未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期2Q	415,841株	2020年6月期	415,841株
② 期末自己株式数	2021年6月期2Q	61,995株	2020年6月期	61,995株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期2Q	353,846株	2020年6月期2Q	353,846株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期特有の会計処理)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間の世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により、世界的な経済活動の停滞等に伴う企業収益の減少、雇用情勢の悪化に伴う消費マインドの低下等の影響が大きく、依然として先行き不透明な状況が続いております。

住宅市場におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い住宅展示場の客足が鈍ったこと、さらに、昨年から続く消費税増税の影響もあり、新設住宅着工戸数が減少し、住宅環境を取り巻く環境も依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社は、主力製品「CERAMシリーズ」「SHINTOかわらS」の拡販や新規顧客の掘り起こしの他、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、YouTubeやLINE等のSNSを活用した商品PRやWeb会議型アプリを使用したリモートによる営業活動にも努めましたが、売上高2,551百万円（前年同期比450百万円減少）となりました。

利益面におきましては、工場稼働計画の見直しによって当第1四半期に「J形棧瓦」専用工場である二池工場と、「役瓦」専用工場である本社第2工場を廃止したことにより、社内全体の生産効率の向上を図ることができたため、当第2四半期累計期間における売上原価率は前年同期四半期比1.0%増の83.1%と同水準を維持することができました。しかし、売上高の減少の影響が大きく、売上総利益431百万円（前年同期比105百万円減少）、営業利益1百万円（前年同期比43百万円減少）、経常利益9百万円（前年同期比47百万円減少）、四半期純損失42百万円（前年同期は37百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末と比較して47百万円減少し、2,631百万円となりました。これは主に、現金及び預金が109百万円増加したこと等に対して、たな卸資産が212百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比較して87百万円減少し、3,925百万円となりました。これは主に、有形固定資産が99百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末と比較して135百万円減少し、6,557百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末と比較して194百万円減少し、2,720百万円となりました。これは主に、短期借入金が165百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比較して127百万円増加し、563百万円となりました。これは主に、長期借入金が140百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末と比較して67百万円減少し、3,283百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、四半期純損失が42百万円となり、剰余金の配当が26百万円増加したこと等により、67百万円減少の3,274百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により197百万円増加し、投資活動により32百万円減少し、財務活動により55百万円減少となり、あわせて109百万円増加し、当第2四半期会計期間末には174百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動における資金の収入は、197百万円となりました。

これは、主にたな卸資産の減少212百万円、非資金費用である減損損失70百万円の増加要因に対し、仕入債務の減少78百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動における資金の支出は、32百万円となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出31百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動における資金の支出は、55百万円となりました。

これは、主に長期借入れによる収入が94百万円、短期借入金の返済による支出120百万円があったこと等によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年6月期の業績予想につきましては、2020年8月7日に開示しております、決算短信の今後の見通しに記載した状況に変化なく、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を現段階において合理的に算定することが困難であることから引き続き未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	185,342	294,865
受取手形及び売掛金	882,182	915,271
電子記録債権	151,480	174,869
商品及び製品	1,352,182	1,153,693
仕掛品	15,391	10,951
原材料及び貯蔵品	67,701	58,480
その他	26,629	25,551
貸倒引当金	△2,000	△2,000
流動資産合計	2,678,911	2,631,684
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	915,846	866,324
機械装置及び運搬具(純額)	99,607	68,384
土地	2,717,187	2,717,187
その他(純額)	156,103	136,956
有形固定資産合計	3,888,744	3,788,852
無形固定資産	7,501	6,322
投資その他の資産		
投資有価証券	59,756	61,792
その他	58,487	69,399
貸倒引当金	△784	△589
投資その他の資産合計	117,460	130,602
固定資産合計	4,013,706	3,925,777
資産合計	6,692,617	6,557,461

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	367,200	333,375
電子記録債務	337,294	292,698
短期借入金	1,900,018	1,735,000
未払法人税等	11,047	20,690
賞与引当金	8,108	7,103
その他	291,616	331,477
流動負債合計	2,915,284	2,720,345
固定負債		
長期借入金	100,000	240,000
繰延税金負債	7,182	7,552
退職給付引当金	184,345	174,999
資産除去債務	34,117	34,492
その他	109,927	105,987
固定負債合計	435,572	563,031
負債合計	3,350,857	3,283,377
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,903	412,903
資本剰余金	348,187	348,187
利益剰余金	2,690,909	2,621,929
自己株式	△125,108	△125,108
株主資本合計	3,326,891	3,257,912
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,869	16,172
評価・換算差額等合計	14,869	16,172
純資産合計	3,341,760	3,274,084
負債純資産合計	6,692,617	6,557,461

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
売上高	3,002,175	2,551,319
売上原価	2,465,255	2,120,158
売上総利益	536,920	431,160
販売費及び一般管理費	492,342	429,604
営業利益	44,577	1,555
営業外収益		
受取利息	9	6
受取配当金	934	1,346
受取運送料	12,525	8,246
その他	5,572	4,351
営業外収益合計	19,041	13,950
営業外費用		
支払利息	7,383	6,328
その他	0	58
営業外費用合計	7,383	6,386
経常利益	56,236	9,120
特別利益		
雇用調整助成金	—	40,005
特別利益合計	—	40,005
特別損失		
減損損失	—	70,130
その他	—	5,735
特別損失合計	—	75,866
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	56,236	△26,740
法人税等	19,142	15,700
四半期純利益又は四半期純損失(△)	37,093	△42,440

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	56,236	△26,740
減価償却費	72,013	66,074
減損損失	—	70,130
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,966	△9,345
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△60	△194
賞与引当金の増減額(△は減少)	△251	△1,005
雇用調整助成金	—	△40,005
受取利息及び受取配当金	△943	△1,352
支払利息	7,383	6,328
売上債権の増減額(△は増加)	66,356	△56,184
たな卸資産の増減額(△は増加)	△151,512	212,149
仕入債務の増減額(△は減少)	38,039	△78,421
未払消費税等の増減額(△は減少)	△17,882	47,666
その他	8,391	△9,003
小計	80,736	180,097
利息及び配当金の受取額	941	1,353
利息の支払額	△7,284	△6,013
雇用調整助成金の受取額	—	26,760
法人税等の支払額	△8,535	△4,912
営業活動によるキャッシュ・フロー	65,858	197,285
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△70,002	△70,004
定期預金の払戻による収入	70,001	70,003
有形固定資産の取得による支出	△10,172	△31,792
その他	△1,985	△794
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,158	△32,587
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,390,000	840,000
短期借入金の返済による支出	△1,320,000	△960,000
長期借入れによる収入	—	140,000
長期借入金の返済による支出	△49,998	△45,018
リース債務の返済による支出	△3,622	△3,777
配当金の支払額	△26,473	△26,380
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,094	△55,176
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	43,605	109,521
現金及び現金同等物の期首残高	141,896	65,339
現金及び現金同等物の四半期末残高	185,502	174,860

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期特有の会計処理）

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（追加情報）

新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、2020年9月28日に提出しました57期有価証券報告書の追加情報に記載した内容に変更ありませんが、新型コロナウイルス感染症の今後の拡がり方や収束時期等により、当社の想定と乖離する可能性があります。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間（自2019年7月1日 至2019年12月31日）

当社は、瓦製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間（自2020年7月1日 至2020年12月31日）

当社は、瓦製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。